

相模台地域まちづくり提言書



平成20年5月
相模台地域まちづくり会議

提言にあたって

私たちの相模台地域は、昭和13年に現在の（独）相模原病院がこの地に開院したのと時を同じくして、小田急相模原駅が開設しました。さらに、昭和30年代後半に現在のサウザンロードの商店街が発展し、公民館などの公共施設、団地や住宅の整備が進むとともに、人口が急激に増加し、現在のまちなみが形成されてきました。

しかし、急激なまちの発展が、快適な生活環境へ支障を及ぼしている状況もあり、こうした現状を踏まえながら、将来のまちの姿について、地域住民によって組織された「相模台地域まちづくり会議」において、話し合ってきました。

こうした会議を重ね、このたび提言書としてまとめさせていただきました。

この提言書には、地域住民がこの地域での生活がより楽しく、快適なものとするための願いが込められていますので、この提言の実現のために、住民と行政とが一体となった活動を進め、さらなる地域の発展を期待するものです。

相模台地域まちづくり会議

会 長 関根 三夫

目 次

1	地域の現況と課題	P 1
2	重点提言項目（地域重点方策）	P 2
3	分野別のまちづくり提言	P 4
	（ 1 ）都市基盤・交通	
	（ 2 ）健康・福祉	
	（ 3 ）教育・文化	
	（ 4 ）地域活力・コミュニティ	
	（ 5 ）基地・米軍ハウス	
	（ 6 ）安全・安心	
	（ 7 ）生活環境	
4	提言図	P 13
	（付属資料）	
	* 会議等経過・主な審議内容	P 14
	* 委員名簿	P 15

1 地域の現況と課題

相模台地域は、(独)相模原病院を中心として、小田急相模原駅から北里までの南北に広がっています。

昨年12月には、駅北口の再開発ビルの完成により、駅前広場の整備や駅利用者の歩行導線が確保され、県道の慢性的な交通渋滞の解消が期待されています。

駅から(独)相模原病院を結ぶサウザンロードには、約1kmにわたる商店街が形成され、地域のにぎわいや活力を育む中心として、地域住民の生活と密着しています。

しかし、昭和30年代後半からの急激なベッドタウンとしての発展により、都市基盤の整備が遅れ、駅周辺の狭い道路の改善や公民館などの公共施設の充実が望まれています。

また、地域のまちづくりの支障となっている米軍ハウスについては、全面返還を要請するとともに、地域での活用策についても検討を行う必要があります。

2 重点提言項目（地域重点方策）

本地域は、次の5点を重点的な提言とします。

（１）人と人とがふれあい、思いやりのあるまちづくり

地域住民のコミュニティの場となる公民館の拡充を図るとともに、麻溝台地区への公民館等の公共施設の整備を進める。

また、地域ぐるみでの子育て環境の整備や子ども会などの充実を図るとともに、様々な地域活動へ参加しやすい雰囲気づくりに努め、人と人とのふれあいによる思いやりのあるまちづくりを進める。

（２）にぎわいと活力を育む商店街づくり

商店街のにぎわいと活力を育むために、地域に根ざした商店街づくりを進めるとともに、様々な店を紹介するためのマップの作成や金券等の作成の検討を行う。

また、サウザンロード相模台商店街については、地産地消を推進し、安心して楽しく買い物ができるように、商店街による朝市の開催や、電柱の地中化、路上駐車対策、休憩スペース、ベンチなどの整備を進めるほか、安全なみちづくりの検討を行う。

（３）基地・米軍ハウスの返還促進

まちづくりの支障となっている基地・米軍ハウスの早期返還を要請するとともに、米軍ハウスの返還に向け、広大な敷地を活用した新たなまちづくりについて検討するとともに、整備を推進する。

(4) 誰もが安心して暮らせるまちづくり

災害時の安全を確保するために、対策の充実をはかるとともに、防犯のための交番や防犯灯の設置を進める。

また、児童生徒が安心して集うことができるこどもセンター等の整備や高齢者などが安心して暮らせるように、道路や施設のバリアフリー化を進めるとともに、地域における助け合いの組織づくりを進める。

(5) 利便性の高い道路・交通の充実

円滑な通行を確保するために、(独)相模原病院前の交差点の改良や市道磯部大野の歩道の拡幅及びバス停付近の待避所の設置を進めるとともに、消防車などの緊急車両が進入できるように、狭あい道路の改善を図る。

また、交通の利便性を高めるために、地域内を巡回するマイクロバスによるバス路線の整備を進めるとともに、小田急相模原駅への急行停車の実現を図る。



3 分野別のまちづくり提言

(1) 都市基盤・交通

【分野別課題】

相模台地域は、昭和30年代後半の小田急相模原駅周辺における急激な宅地化により、4メートルに満たない狭い生活道路が多く、消防車などの緊急車両が進入できない状況にあります。また、幹線道路も狭く、さらには、幹線道路を連絡する道路が不足しているなどの課題もあります。

道路環境については、通学路でありながら歩道がなかったり、道路上の電柱が通行の支障となっているほか、変則な交差点の形状により渋滞や歩行者が危険な状況にあるため、安全な道路を確保するための道路環境の改善が必要となっています。

また、高齢化を迎え、地域内を巡回するバスや公共施設を結ぶ路線バスの充実、小田急線の利便性の増進を図るとともに、にぎわいや活力を育むために、新たな生活や活動の拠点の整備が求められています。

【提言項目】

円滑な道路交通の確保

- ・市道磯部大野の歩道の拡幅及びバス停付近の待避所の設置を進める。
- ・市道相模台29号ほか（サウザンロードから村富線まで）の道路の拡幅を検討する。

道路拡幅による安全の確保

- ・消防車などの緊急車両が進入できる道路への改善を図る。（相模台地区）

人にやさしいみちづくり

- ・道路上の電柱の移設や地中化の検討を進める。(サウザンロード、職業訓練校付近ほか)
- ・歩道を車椅子が通れるように拡幅する。
- ・点字ブロックの整備を進める。(サウザンロードほか)
- ・安心して買い物ができるように、サウザンロードの安全なみちづくりの検討を行う。(車両のスピード抑制、歩行者天国)
- ・市道麻溝南台への歩道の整備を進める。
- ・(独)相模原病院前の交差点の改良を進める。

バス交通網の充実

- ・地域を巡回するマイクロバスによるバス路線の整備を進める。
- ・駅や公共機関を結ぶバス路線の充実を図る。

鉄道の利便性の向上

- ・小田急相模原駅への急行の停車の実現を図る。

新たな拠点の整備

- ・麻溝台・新磯野地域のまちづくり構想の早期実現を進める。
- ・(独)相模原病院周辺の活性化による、さらなる人の流れの創出を図る。
- ・麻溝台の市街化調整区域への公民館などの公共施設の整備を進める。

活気あるまちづくりの推進

- ・バス路線の再編や拠点の整備により人の流れを変える。



(2) 健康・福祉

【分野別課題】

- 相模台地域は、地域人口の約20パーセントが65歳以上の高齢者で、市の平均を大きく上回っており、高齢化に対応したまちづくりが必要となっています。
- また、地域の中央には(独)相模原病院、西には北里大学病院がありますが、いわゆるまち医者不足や夜間の救急体制などに対する不安があります。

【提言項目】

人にやさしいまちづくり

- ・ 道路、施設などのバリアフリー化を進める。

高齢者の交流の場の充実

- ・ 交流の機会の創出を図る。
- ・ 参加を呼びかけるPR方法の充実を図る。
- ・ 空き教室、空き店舗を有効活用した交流の場づくりを進める。

地域での助け合いの推進

- ・ 地域での助け合いの組織づくりを進める。
- ・ 社会参加機会のPR方法の充実を図る。
- ・ 高齢者にやさしい商店の復活を図る。(御用聞き制度など)
- ・ 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進める。

地域医療の充実

- ・ 身近な地域での医療体制の充実を図る。
- ・ 安心して生活が送れるように、救急体制の充実を図る。

(3) 教育・文化

【分野別課題】

相模台地域は、公民館を中心とした地域住民の活動が盛んですが、公民館が地域の人口に対して施設の規模が小さいため、なかなか使用できないなど、定期的な活動を行う上で支障があります。

また、地域内にはこどもセンターがありますが南北に広いため、児童・生徒が集える場所が不足し、子どもの健全育成のための場の充実が求められています。

【提言項目】

地域住民の交流の場の充実

- ・ 県営住宅跡地、市営住宅用地への出張所、公民館の移転・整備を進める。
- ・ 麻溝台の市街化調整区域への公民館などの公共施設の整備を進める。(再掲)
- ・ 空き教室を有効活用した交流の場づくりを進める。
- ・ 青少年の集える場としての青少年学習センターの整備を進める。
- ・ 若草、双葉小学区へのこどもセンターの整備を進める。
- ・ 国際的な人々の交流の場となる文化施設等の整備を進める。



(4) 地域活力・コミュニティ

【分野別課題】

相模台地域は、小田急相模原駅から(独)相模原病院を結ぶサウザンロード相模台商
店街を中心とした地域のまとまりがあります。しかし、これまで地域の中心であった商店
街も後継者がいないなどから、空き店舗が目立つようになっており、にぎわいのある商店
街とするためには、商店街としての特色づくりを行う必要があります。

また、活気ある地域コミュニティをつくるために、若者の社会参加の機会を増やすと
ともに、様々な場において活躍できるリーダーの育成が必要となっています。

【提言項目】

商店街の活性化

- ・ 地域に根ざした商店街づくりを進める。
- ・ 商店街マップの作成を行う。
- ・ 集客を図るため、核となるショッピングセンターの整備を検討する。
- ・ 地域内の商店街で使える金券などの検討を行う。
- ・ 人にやさしい商店街のバリアフリー化を進める。
- ・ サウザンロード定期市（朝市）を開催し、新鮮野菜などの販売を通じて、地産地消を推進する。
- ・ サウザンロードに、休憩スペース、ベンチ、トイレを整備する。
- ・ 商店街の電柱の地中化など障害物のない歩きやすいみちづくりを進める。
- ・ 安心して買い物ができるように、サウザンロードの安全なみちづくりの検討を行う。（車両のスピード抑制、歩行者天国）（再掲）
- ・ 路上駐車対策として、商店街の駐車場を整備する。

地域コミュニティの充実

- ・新旧住民の交流による新しい地域文化づくりを進める。
- ・若者が住みやすい住環境づくりを進める。
- ・魅力ある自治会づくりを進め、加入者を増やす。
- ・できることから地域活動の参加を呼びかける。
- ・地域コミュニティを充実し、防犯・防災に役立てる。
- ・座間市との市境をわかりやすいように見直す。

地域における人づくり

- ・地域における子ども会などの充実を図る。
- ・地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進める。(再掲)
- ・地域における教育の充実を図るために専門職員の配置を行う。
- ・若者が地域活動などへ社会参加しやすい雰囲気づくりを進める。
- ・女性の各種委員などへ任命しやすい環境づくりを進める。

モラルの向上

- ・青少年に対する家庭教育の充実を図る。
- ・大人のモラルの向上を図る。



(6) 安全・安心

【分野別課題】

相模台地域は、昭和30年代後半の小田急相模原駅周辺における急激な宅地化により、消防車などの緊急車両が進入できないような狭い道路が多く、火災や地震などの災害時において被害を少なくするためには、道路の拡幅などの改善が必要となっています。

地域における防災・防犯活動については、地域の消防活動を担う消防団員が不足していたり、災害時に備えた避難方法などの対策の検討が必要であるほか、地域における犯罪が増加傾向にあることから、犯罪の抑止策や防犯体制の充実が求められています。

【提言項目】

地域防災・防犯体制の充実

- ・災害時をシュミレーションした対策の充実を図る。
- ・地域コミュニティを充実し、防犯・防災に役立てる。(再掲)
- ・防犯灯の設置を進める。
- ・麻溝台地区への交番の設置を要請する。
- ・ひばり放送の難聴地区の改善を図る。(南台、相模台)
- ・消防車などの緊急車両が進入できる道路への改善を図る。(相模台地区)(再掲)

(7) 生活環境

【分野別課題】

相模台地域は、木もれびの森や仲良し小道などがあり、地域住民の憩いの場となっています。しかし、小田急相模原駅周辺は身近な公園などは不足し、子どもが自由に遊ぶことができないような状況もあります。

また、公園や商店街へゴミが不法投棄されたり、住宅地と商店街とが混在するなど、地域住民がやすらぎとうるおいのある生活を送るために、良好な住環境を創ることが求められています。

【提言項目】

公園・緑地の充実

- ・子どもが自由に遊べる広場や地域住民の憩いの場の充実を図る。

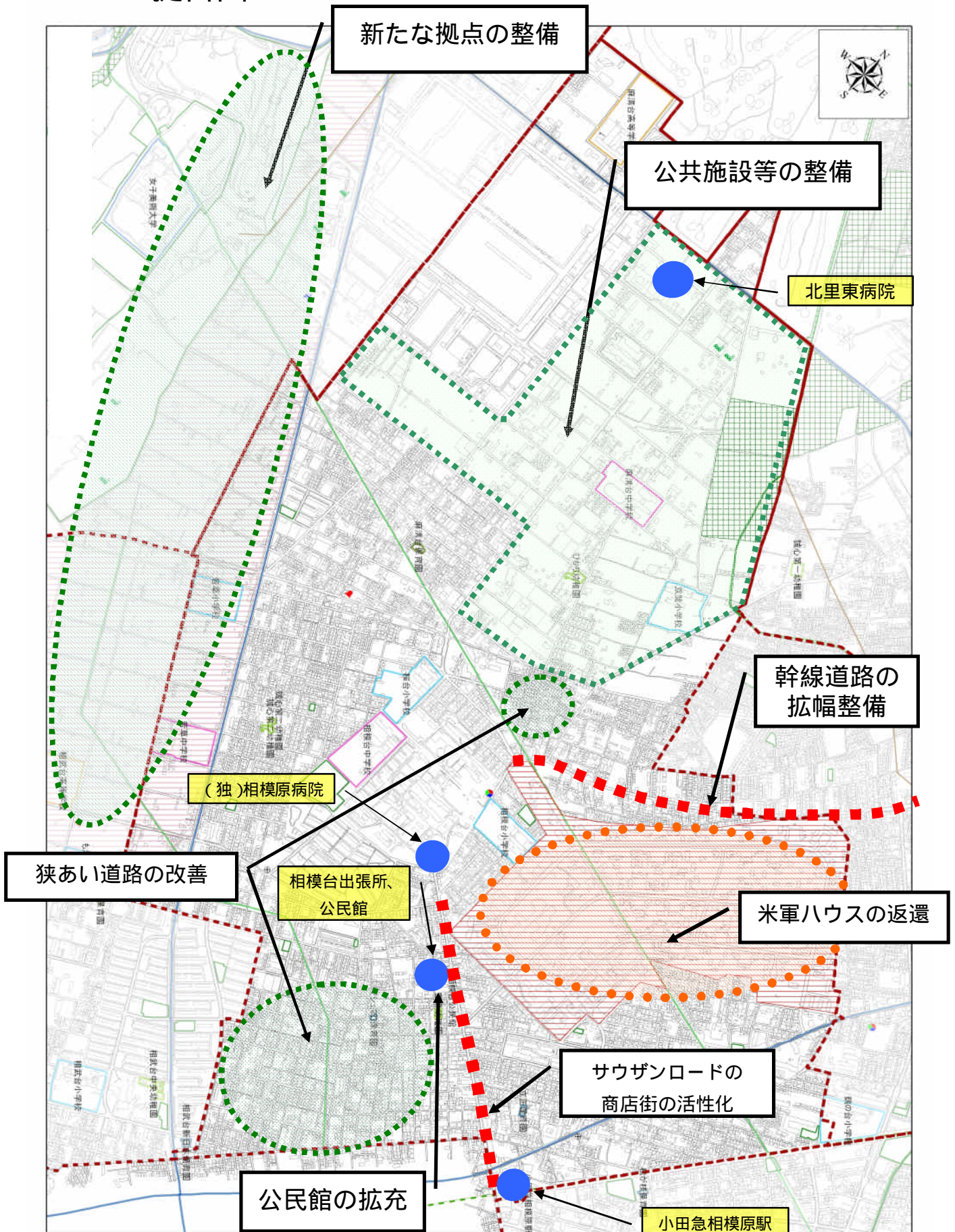
不法投棄の防止対策の充実

- ・ポイ捨て禁止条例における空き缶等散乱防止重点地区への指定を働きかける。
- ・看板設置・美化運動などの啓発活動の実施を進める。

良好な住環境の確保

- ・商店街の電柱の地中化など障害物のない歩きやすいみちづくりを進める。(再掲)
- ・商店街と住宅街が共存するまちづくりを進める。

4 提言図



(付属資料)

会議等経過

日程	会議内容	出席者数
平成19年 7月10日(火)	相模台地域まちづくり会議準備会に向けた打ち合わせ会議 ・会則、公募方法等の検討	委員2名
7月23日(月)	相模台地域まちづくり会議準備会に向けた打ち合わせ会議 ・会則、公募方法等の検討	委員7名
9月5日(水)	相模台地域まちづくり会議準備会 ・公募の選考等	委員8名
9月20日(木)	第1回相模台地域まちづくり会議 ・会則(案)、役員を選出	委員22名
10月18日(木)	第2回相模台地域まちづくり会議 ・地域の伸ばすべき点と改善すべき点について	委員17名
11月15日(木)	第3回相模台地域まちづくり会議 ・地域の伸ばすべき点と改善すべき点について	傍聴1名
		委員18名
12月13日(木)	第4回相模台地域まちづくり会議 ・地域の伸ばすべき点と改善すべき点について(まとめ)	委員17名
平成20年 1月18日(金)	第5回相模台地域まちづくり会議 ・地域の伸ばすべき点と改善すべき点について(まとめ)	委員22名
2月14日(木)	第6回相模台地域まちづくり会議 ・提言図、提言書案の検討	委員17名
3月11日(火)	第7回相模台地域まちづくり会議 ・提言図、提言書案の検討、地域説明会準備	委員20名
4月22日(火)	相模台地域まちづくり提言書(素案)説明会	一般14名
		委員20名

委員名簿

	氏名	選出団体	役職
1	関根 三夫	ふるさと街づくり活性化協議会(会長)	会長
2	坂井 敏克	地区自治会連合会(会長) 安全・安心まちづくり協議会	副会長
3	佐藤 征四郎	地区自治会連合会(副会長)	
4	高橋 隆昭	地区自治会連合会(副会長)	
5	坂本 堯則	地区自治会連合会(副会長) 地区社会福祉協議会(会長)	
6	菊地原 弘道	相模台公民館(館長)	副会長
7	原 裕子	地区民生児童委員協議会(会長)	
8	檜垣 睦史	相模台商店街連合会	
9	林 俊雄	相模台商店街連合会	
10	朝倉 繁典	サウザンロード相模台まちづくり委員会(委員長)	副会長
11	本田 幸子	地区健全育成協議会(会長)	
12	谷口 宣子	地区青少年指導員連絡協議会	
13	河邊 正明	市体育指導委員連絡協議会(代表幹事)	
14	丸山 金代	市健康づくり普及員(理事)	
15	山内 靖弘	地区老人クラブ連合会(会長)	
16	大川 千枝子	地区ボランティアの会(会長)	
17	三枝 浩	消防団第9分団(分団長)	
18	菊池 実千代	相模台小PTA会長	
19	本山 香津江	相模台中PTA会長	
20	鈴木 博雄	小田急相模原駅北口B地区市街地再開発準備組合(代表)	
21	斎藤 允一	地区交通安全推進協会(会長)	
22	山口 和雄	地区防犯協会(会長)	
23	平本 東郷	相模原市農協理事	
24	伊藤 禎子	公募委員	
25	杉田 實	公募委員	

(事務局)

企画政策課 櫻澤 淳、岩永 幸夫 都市計画課 大橋 乃介

土地利用調整課 饗場 祐介

相模台出張所 平田 武

相模台公民館 山本 利昭(～H20.3) 伊藤 裕通(H20.4～)